

とです。要は、在宅医療関連の保険点数が高くなるということです。砕いて言えば、在宅医療を受ける方は出費がかさみ、医療者の儲けが多くなるということ。儲けがあるからそれをやる人が増えるでしょう」という誘導法なのです。個人的にはとても下品な方法だと思うのですが、国の常套手段でもあります。

実は、以前訪問歯科を推進しようとしてとても点数が上がったことがあります。確かにそのときに訪問歯科は増えたのですが、その点数が低くなった瞬間に訪問を辞める歯科医師が多く出ました。しょせん理念なき行動は場当たりの「良いとこどり」なんです。

在宅医療が必要だと思えば、医療者は保険点数がどうであろうと続けるし、点数に踊らされた人は点数がなければ

ば辞める、それだけなんです。点数なんて高くななくても十分に在宅医療は魅力的ですけどね。

仮歯

特に前歯を治療中の時、大きく削られると「どんな格好になっちゃうんだろう!」と不安になりますよね。前歯を治療中の僕（もちろん患者として）が思うのですから皆さんが思わない訳がありません。このような時、診療室で仮歯を作ることが出来ます。

前歯に関してはある程度の形になった枠があるので結構早く、きれいに作ることが出来ます。しかし、奥歯は自分で材料を練って粘土状にし、それを固めて歯の形に削っていくの

で結構手間がかかります。

今ではいくつかの大学や短大で講義をするようになりましたが、二十歳代で初めて専門学校の講師になったとき、歯科衛生士にこの仮歯を作らせる実習もやっていました。おかげで結構得意な作業です。

ただ、仮歯作りはその人なりのクセが出ます。角張ったり長くなったり。文字のクセと一緒に。僕の仮歯の特徴は：ちょっと丸っぽくなってしまう。文字もそうかもしれない!

ちなみにこのような作業はネイル（爪）の作業と材質も加工器具もほぼ一緒です。逆に、ネイリストの人たちに仮歯作らせたから抜群だったりして!

